

## 8-2-2 業界展望を考える若手技術者の会

### 1. 委員会の開催

若手の会は、全国各支部から 20~30 代のメンバーを集め活動を展開している。若手の会は、月 1 回程度の会合とあわせて、他支部の若手組織との連携や業界外の異業種との連携を図っている。今年度は、例会を 3 回、各種イベントを 5 回開催した。

### 2. 実績報告

#### (1) 全国各支部の若手組織代表者会議

全国各支部の若手組織の代表者を集め、全国交流会を開催した。内容としては、各支部で活動している好事例を共有すると共に、事前に行った各社テレワークの実施状況、各種会社からの補助内容、働き方の変化（メリデメ）などの調査結果を共有し、今後のニューノーマル時代の働き方について討議した。

#### (2) 次世代人材と経営層の意見交換会

業界が抱える本質的課題や業界の将来ビジョンを正しく理解し業界改善・活性化に向けて主体的に行動していくことを目的に、各社経営層と意見交換会を行った。テーマとしては、「建設コンサルタントの要望と提案」、「建設コンサルタント白書」、「建設コンサルタントビジョン 2014」、「今後の建設コンサルタント業界・企業・技術者の在り方」を題材にした。また、成果報告書をまとめ、協会本部へ提出した。

#### (3) 国土交通省道路職員との勉強会

2020 年 6 月に示された新ビジョン「2040 年道路の景色が変わる」について、策定の中心メンバーだった国土交通省職員を招き、新ビジョンへの思いやビジョン実現に向けた方策などについて意見交換した。

#### (4) 土木学生有志団体との就活ウェビナー

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種合同説明会や会社説明会も WEB 開催が多くなる中、就活生にとっては社員との接点が少なく、入社後のミスマッチになりかねない。そこで、土木学生有志団体 Doboku-Lab と連携して、就活

ウェビナーを開催した。全国 38 大学延べ 86 名の学生が参加した。ウェビナー後には、日常的に社会人と就活生が交流できる場として、LINE オープンチャットでグループ（195 名参加）を作り、面接対策や情報交換を行った。

### 3. 次年度の活動について

若手の会においては、設立から 5 年が経過したこと、業界全体で 2,000 人を超える規模のネットワークに成長したこと、業界内外から受賞されたこと、各種メディアへ 100 回近く掲載されたことなどから、「業界活性化の一大ムーブメントを起こす」というミッションにおいて、一定の成果を上げたと考える。そこで、今年度（令和 2 年度）の任期満了のタイミングを一つの区切りと捉えている。次年度（令和 3 年度）は、これまで構築してきた協会各支部とのネットワークは維持しつつ、メンバーを刷新し、新たなメンバーで、新たなビジョンを掲げ、新たな活動をしていきたいと考えている。

（業界展望を考える若手技術者の会委員長  
伊藤 昌明）